大熊委員

現庁舎の大規模修繕の予定は

Q 複合庁舎完成まで残り約２年となる中、現庁舎の老朽化に対する大規模修繕の予定は。

A 大規模な修繕は予定していないが、塗装の剥離など危険がある箇所や緊急性の高いものに限り、事故防止のため最低限の修繕を実施する。



大熊委員

情報化に対応するための専門人材の確保は

Q 高度化する行政の情報化に対応するため、専門的な人材を雇用する予定はあるか。

A 現在はＣＩＯ補佐官からの助言を受けつつ、地域活性化企業人制度を活用した情報関係職員の確保を予定している。対象となる事業者との交渉や手続きを進め、専門人材の確保に努めていく。

遠藤委員

交通安全協会費の廃止と新たな取り組みは

Q 交通安全指導員の確保状況と、交通安全協会費（500 円）に関連したゴミ袋の配布などは今年度も継続されるのか。

A 指導員 17 名を確保した。負担が大きい会費とゴミ袋の配布は廃止したが、各種イベント等に協力金箱を設置し、物価高に対応しながら交通安全事業の原資をしっかりと確保していく。

植西委員

子どもたちの安全を守る防犯対策は

Q 子どもたちの安全確保・防犯対策として「いかのおすし」と「防犯マップ」を組み合わせることが効果的であるが、これらをどのように推進しているか。

A 防犯協会を通じた啓発のほか、見守りや「子ども 110 番の家・事業所」に駆け込める体制を整えている。防犯マップの作成予定はないが、危険箇所を記したマップにより通学路の安全確保に取り組んでいる。



子どもたちの安全安心を守る義務は住民にもあり、それを支えるための仕組みは、防犯協会が中心となってよく考えていただきたい。



佐藤〈良〉委員

外国人材の確保と支援は継続されるか

地域おこし協力隊
特別養護老人ホームあそか苑従事



シンタ・ヌルディアナ さん



ラム・カイ・ハン さん

Q ８年度以降も外国人介護福祉人材育成支援事業を継続する予定か。また、何人程度の受け入れを計画しているか。

A 現在は地域おこし協力隊制度を活用し支援しているが、８年度以降は法人からの正式な要望がなく予算計上していない。法人の採用方針を踏まえつつ、情報提供を行いながら人材確保に努める。

佐藤〈良〉委員

スクールバスの運行管理と点検体制は

Q スクールバスの適切なメンテナンスや運転手のアルコールチェックの現状は。

A 車両は定期点検を行っている。また、運転手のアルコールチェックは委託業者で実施し、毎月報告を受けている。万が一、基準値を超えた際は、直ちに別の運転手へ交代する体制となっている。



谷口委員

ぴっぷクリニックの持続可能な運営へ向けて

Q ぴっぷクリニックの利用者減少をどう捉え、今後の運営や送迎はどう改善するのか。

A 健診の受け入れなどで収支改善に努めている。また、指定管理料による支援や送迎体制について指定管理者と協議し、運営維持に努める。



地域医療を維持するためには、医師・人材の確保、在宅医療・地域包括ケアの充実、医療機関の分業化など、多角的な取り組みが必要ですね。



遠藤委員

ボランティアの活躍と隙間事業を展開する考えは

Q ボランティアの育成や顕彰、介護保険外の「隙間事業」への対応は。

A 長年活動してきたボランティアへ感謝を伝えるとともに、新しい担い手育成に努める。また、法制度でカバーできない生活上の困りごとに対し、社協と連携した事業の検討や、独居宅の訪問を進める。

社会福祉協議会は福祉を支える大事な事業者です。サポーターの研修・サポーター同士の交流など、長く続けていける施策を望みます。



植西委員

緊急通報システムの利用状況と利用料は

Q 緊急通報システムの利用状況は。また生活保護受給者の利用と料金負担はどうなっているのか。

A 警備会社への切り替えや移行案内により、現在は 20 件が利用されている。利用料金は一律で月額 500 円をご負担いただいている。

植西委員

近隣自治体との連携による買い物環境の充実を

Q 隣町の地域通貨を共有し、町民の買い物環境の確保や商業支援に活用できないか。

A 過去に関係課や団体と協議したが、ランニングコストが発生することや、各事業者の負担、町内事業者において導入への意欲があまり見られなかったことなどの課題があり、導入は見送る経緯となった。